

2025 東日本パラ水泳選手権大会 兼 2025 年度日本パラ水泳インクルーシブ記録会 実施要綱

(一社) 日本パラ水泳連盟・(一社) 日本知的障害者水泳連盟 公認大会

1. 主 催 関東身体障害者水泳連盟・東北身体障がい者水泳連盟
2. 共 催 一般社団法人日本パラ水泳連盟
3. 協 力 一般社団法人福島県水泳連盟 (予定)
公益財団法人福島県障害者スポーツ協会 (予定)
一般社団法人日本知的障害者水泳連盟 (予定)
4. 後 援 郡山市 (予定)
5. 期 日 2025年7月26日(土) 10:00～(予定) ※受付開始8:30
6. 会 場 郡山しんきん開成山プール〔長水路仕様〕(福島県郡山市開成1丁目5-12)
7. 競技種目 (男女共通)

※S,SB,SM1～13 は日本パラ水泳通信総合記録会マルチクラスレース対象

	S1 SB1	S2 SB2	S3 SB3	S4 SB4	S5 SB5	S6 SB6	S7 SB7	S8 SB8	S9 SB9	S10	S11 SB11	S12 SB12	S13 SB13	S14 SB14	S15 SB15	S21 SB21	O P
自由形	50m、100m																50 m
背泳ぎ	50m、100m																50 m
平泳ぎ	50m、100m																—
バタフライ	50m、100m																—
個 メ	SM1～4 150m			SM5～21 200m													
M R	50m×4 (28 p ・ 38 p ・ S14) ※ブロック対抗ミックスリレー含む																
F R	50m×4 (28 p ・ 38 p ・ S14) ※ブロック対抗ミックスリレー含む																

※パラ選手クラス未受検者はオープン (OP) 参加とする

10. 参加資格・制限

【日本パラ水泳連盟等登録選手およびパラ選手】

- (1) 日本パラ水泳連盟、日本知的障害者水泳連盟、日本デフ水泳協会に加盟している団体・クラブに所属している選手、同連盟に個人登録した選手、主催者が認めた選手。
- (2) 新規登録者でクラス分けを受験したことのない選手は、事前に大会事務局に相談すること。
- (3) 小学生以上であれば上記(1)に該当しない選手の参加を認める。但し、オープン参加とし、公認記録とはならない。また、個人での参加も認めるが、保護者もしくは帯同者の責任を持って参加すること。浮具の使用は認めない。
- (4) 競技クラスを持っていない選手は、50m自由形・背泳ぎのみオープン種目で出場できる。浮具は認めない。

【日本水泳連盟登録団体選手】※（個人参加）

- (1) 福島県内に在住していること、もしくは同県内に通学、通所していること。または、同県内の団体・クラブに所属していること。
- (2) 2025年度（公財）日本水泳連盟競技者登録完了者および未登録選手（個人参加）の参加を認める。但し、オープン参加とし、公認記録とはならない。

【日本マスタース水泳協大会登録選手】※（個人参加）

- (1) 福島県内に在住していること、もしくは同県内に通学、通所していること。または、同県内の団体・クラブに所属していること。
- (2) 一般社団法人日本マスタース水泳協会登録選手および各団体未登録選手（個人参加）の参加を認める。但し、オープン参加とし、公認記録とはならない。

【共通】

- (1) 出場種目は1人3種目以内とする。

11. 競技方法

- (1) 「2025年度 日本パラ水泳連盟（JPSF）競技運営指針 競泳規則」により行う。
- (2) 種目が同じであればクラス区分が違っていても同時にレースを行う。
- (3) ここで出した記録は日本パラ水泳連盟の通信記録会の記録として認定され、マルチクラスレース方式で日本パラ水泳選手権時に表彰が行われる。
- (4) ブロック代表チームでリレーを構成しブロック対抗リレーとする。その記録競争において優勝したブロックチームを、日本パラ水泳選手権時に表彰を行う。

1 2. 申 込 金

- (1) 個人種目 1 種目 1,500 円
- (2) リレー 1 種目 2,000 円
- (3) プログラム 1 部 600 円 ※希望する方のみ。
- (4) 通信記録会申込金 1,000 円 ※S14 の選手で、日本パラ水泳通信総合記録会の記録認定（順位付け）を希望する方のみ。

1 3. 申込み方法

東北身体障がい者水泳連盟ホームページ（下記URL）より申込用Excelシートをダウンロードし、必要事項を入力のうえメールにて送付すること。

送付先（東北身体障がい者水泳連盟）mail : tohoku.paraswim@gmail.com

1 4. 振込先

【振込先口座】仙台銀行太白支店 普通預金 口座番号 2542811

（口座名義）東北身体障害者水泳連盟 仙北屋 勉

※振込手数料は参加者負担とする。

1 5. 申込締切 2 0 2 5 年 6 月 3 0 日（月）

1 6. 問い合わせ先 tohoku.paraswim@gmail.com

- | | | |
|-----------|--------------------|--------------------|
| 1 7. 競技順序 | 1. 4 × 50m メドレーリレー | 7. 50m 平泳ぎ |
| | 2. 100m 自由形 | 8. 50m 背泳ぎ |
| | 3. 100m 平泳ぎ | 9. 50m バタフライ |
| | 4. 100m 背泳ぎ | 10. 200m 個人メドレー |
| | 5. 100m バタフライ | 11. 4 × 50m フリーリレー |
| | 6. 50m 自由形 | ※いずれも女子・男子の順で実施する。 |

1 8. その他

- (1) タッパーならびに入退水介助者は参加選手で準備すること。
- (2) 競技時の介助者は、泳法例外コード（CoE）に A、T、Y がある選手のみとなる。
そのほかの選手については、参加申込み時に相談すること。
- (3) 車椅子の貸し出しは行わない。 必要な場合は各自で用意すること。
- (4) 競技中は安全を第一に行う。障がい以外に高血圧症、心臓病等の持病がある場合は主治医

に競技参加の許可を得て出場すること。健康状態において、競技続行中止の命令が出た場合は速やかに競技を中止すること。

- (5) 競技会場内での事故、けが等については、応急処置等は行うが、その後の治療等の責任については、それぞれの所属チーム、参加者個人で行うこと。

引率責任者は出場選手に十分な注意を払うこと。

- (6) 参加チームは、当日の受付、運営（計時など）、後片付けの役員派遣の協力を行うこと。

※交代でも可能。

- (7) 受付終了後に監督者会議を開催する。（ＡＤカード・注文プログラム他を配布します）

「日本パラ水泳通信総合記録会地域インクルーシブ型」開催要項

- 1, 目的 東京 2020 のレガシーであるインクルーシブ社会の構築に寄与するとともに、パラ水泳と健常者水泳との相互交流を目指し、ともに楽しめる記録会を実施するとともに、コロナ禍によって減少したパラスイマーの回復に努める
- 2, ねらい 当連盟の中・長期計画では、そのミッションとして「パラ水泳をする、見る、支える多様な人々が輝く社会を実現する一水でつながり、世界が広がるー」
としており、アクションプランとして「健常者の大会にも障がい者が参加するインクルーシブ大会（豪州モデル、神戸・横浜・スイミングクラブ全国大会等）の普及・拡大」を掲げてきた。
しかし、健常者がパラ水泳記録会に参加をすることで、インクルーシブの考え方を醸成し、それをきっかけに健常者の大会にも参加するという相互乗り入れの実施を試みる必要がある。
通信記録会におけるポイント制の導入は、健常者も公平にポイントで争うことができるため、健常者の参加も含めた通信記録会の開催が可能であり、地域における記録会の活性化とインクルーシブ社会の構築に寄与することになる。
昨年度、地域の一部では、ブラックゴーグル体験など健常者のレースも取り入れてきたことから、健常者の参加も呼びかけ、インクルーシブ型を取り入れた通信記録会を実施し、新たな地域における記録会の魅力づくりを行う。
- 3, 名称 2025 年度「日本パラ水泳通信総合記録会地域インクルーシブ型」事業
- 4, 主催 一般社団法人日本パラ水泳連盟
- 5, 主管・協力 東北身体障がい者水泳連盟、関東身体障がい者水泳連盟、近畿身体障がい者水泳連盟（協力：中部障がい者水泳連盟）、九州障がい者水泳連盟（協力：中四国身体障害者水泳連盟）
- 6, 後援 各地域行政機関、各地域水泳連盟、パラスポーツ機関、当連盟スポンサーなど
- 7, 内容 (1) インクルーシブ型通信記録会として、主管団体が運営する記録会と連携・協働するため会場の確保を行う。
(2) 主管団体が運営した記録会が終了した時点で、マルチクラスによる順位付けを行い。第 42 回日本パラ水泳選手権大会等でメダル授与を行う。
また、ブロック対抗のリレーについても、優勝ブロックにメダル授与を行う。このため、通信記録会としての種目設定を行う。

- (3) 記録会の公正性等を確保するため、資格のある審判員及び運営状況、記録管理を実施するための総務員を派遣する。

8, 実施時期と場所

- (1) 東北ブロック
2025 年 8 月 24 日 (日)
盛岡市立総合プール
- (2) 関東ブロック
2025 年 6 月 22 日 (日)
川崎市多摩スポーツセンタープール
- (3) 近畿・中部ブロック
2025 年 9 月 23 日 (祝・月)
滋賀県立障害者福祉センター
- (4) 九州・中四国ブロック
2025 年 10 月 19 日 (日)
大分市営温水プール
- (5) 東日本インクルーシブ型特別事業
2025 年 7 月 26 日 (土)
福島県郡山しんきん開成山プール

9, 競技規則

世界パラ水泳連盟競技規則及び当連盟競技運営方針

10, 種目設定

- (1) マルチクラスレース
＜男女とも S1～S13、100m、200m競技は S14 を含む＞
- | | |
|----------|--------------------------------|
| 50m、100m | 自由形 (50mは S1～S13、100mは S1～S14) |
| 50m、100m | 背泳ぎ (50mは S1～S13、100mは S1～S14) |
| 50m、100m | 平泳ぎ (50mは S1～S13、100mは S1～S14) |
| 50m | バタフライ (S1～S13) |
| 100m | バタフライ (S5～S14) |
| 150m | 個人メドレー (SM1～SM4) |
| 200m | 個人メドレー (SM3～SM14) |

※計算方法は、2024World Para Swimming Senior Points Calculator を使用する。

※16 歳以下の選手はユース枠としてハイポインターを別表彰対象とする

(2) 知的障がい者 (S14)

50m自由形は知的障がい者のみで順位を決定

100m自由形、100m背泳ぎ、100m平泳ぎ、100mバタフライ

200m個人メドレーは身体障がい者も含めマルチクラスとして順位を決定

(3) 聴覚障がい者 (S15)

50m自由形を聴覚障がい者のみで順位を決定

他の種目はマルチポイントがないため、通信記録会には採用しない

(4) ブロック対抗ミックスリレー (フリーリレー、メドレーリレー)

28 ポイント、38 ポイント、S14 ミックスリレー

※ここでの S14 リレーは男子 2 名、女子 2 名で構成する

※ポイントは、日本パラ水泳選手権大会のリレーポイントを使用する

(別添参照のこと)

(5) インクルーシブ種目 参加レースイベント (自由選択)

例：ブラックゴーグル体験レース、100m F r

なお、東日本インクルーシブ型はマルチクラスレースとして複数種目を
設定する

1 1, 参加対象者

当連盟登録会員、当連盟会員に登録を希望するもの

知的障がい者については「通信記録会参加会員」と位置づけ、エントリー料とは別に
1000 円を地域で受け取り参加可能とする。

一般健常者については、希望者によるエントリーとする

選手付き添い支援者等 (各地域での定めによる)

1 2, 表彰

マルチレースの男女別、種目ごとに 1 位～3 位を表彰する

S14 クラス 50m自由形男女について 1 位～3 位を表彰する

S15 クラス 50m自由形男女について 1 位～3 位を表彰する

ハイポインター表彰として 男子 1 名、女子 1 名を表彰する

ユースハイポインターとして、16 歳以下の選手の中から男子 1 名、女子 1 名を
表彰する (年齢は大会時の年齢を確認する)

ブロック対抗リレーについては、それぞれのリレー1 位を表彰する

*1 位～3 位の表彰にはマイナス 1 ルールを適用する。

1 3, 記録の取り扱い

当連盟会員の記録については、当連盟公認記録として、データベースに掲載する。

1 4, クラス分け
実施しない